

狭き部屋 老いの身でやる 年用意 岡本太郎 神様も 塩鮭あてに 爛酒だ 三波 サンタさん 赤い服着て ニッコリと God

ひと花新聞

122号

令和5年12月5日
 発行：認定NPO法人さやま支援機構
 ひと花センター
 〒557-0002
 大阪市西成区太字
 1-13-15
 電話：06-6649-7890

市民館でのほっこり運動会は、大好評に終わりました!



座って玉入れ!



競歩リレー! 綱引き!

西成市民館との共催で小さな運動会をしました。勝負がはじまると皆、燃えていました! 盛り上がりすぎてヒヤヒヤする場面も(笑)

思い出の散歩の会
 昔は散歩の会には専門のガイドさんが案内してくれていました。散歩からむじろとガイドさんが行く先を導いてくれていました。そこで多数決で行く先を決めました。その時皆が走去をいってそれでは京都の嵐山に行く事になりました。涼月橋の橋の川に流る船を見るのが近所のレストラで昼食をとりました。天気もよく橋に渡ると涼風が吹きます。そしてついに涼月橋の橋を歩けるから素晴らしい景色をながめるとおもしろい。おどろいたのは橋の上には日本人はほとんどいなく世界各國の外国人でいっぱいでした。橋を渡ってこれた喜びを空を飛ぶ気分に酔ってしまいました。そこで皆おもしろいので、いろんなお話をしたりお土産を買ったりしました。そして川を散歩して皆で記念写真をとりました。今日はまたターナーさん、アサヒさんをお招きしていただきました。本当に素晴らしい大人の遠足でした。私にはとてもおもしろい散歩の会でした。次回もぜひぜひ茶屋の散歩の会、仲間を連れて行くのが楽しみです。とくじい

散歩の会



とくじい提供の散歩の会の写真。懐かしいですね! みんな若い! 次回は12月8日 カップヌードルミュージアムです。はじめてのかたも是非!

西成ベンチプロジェクト

新しいベンチが完成しました! 渋い色の素敵なベンチです。ぜひ探してみてくださいね!



ひさしぶりにポッチャを楽しみました! 皆さん相変わらず上手い!



ポッチャ会



私のよもやま話
 寒くなって来ました。皆さんお変わりありませんか! 私は、この季節になると、子供の頃、可愛がってくれた、隣のおばあちゃんを思い出します。明治生まれで、80歳位の元気なおばあちゃんでした。庭先の畑で着物の裾を捲っておしっこしたり、手鼻かんだり日常茶飯事でした。当時はテレビも白黒で、放送時間も、朝、6時~夜10時位。朝、NHKのニュースでおはようございます! と言えば正座しておはようございます! 後で誰や! テレビの後ろ覗いて、誰もおらん。皆、大笑いしました。火鉢の中の灰の中に、栗を入れて、パーン。良く見ると、顔中灰だらけのおばあちゃん。ビックリしたわ~! ある日、私が仕事から帰って来るので、風呂沸かす風呂の水入れてくれ。井戸水をつるべで汲み、バケツで運び満タンに。婆さんが、風呂の焚口に松葉を焚き付けに入れて、火を点けようとしたら婆さんが、可愛がっていた猫が釜戸の中で、寝てた。火を点けたから猫もビックリ。飛び出して来たから、婆さん腰抜かしてビックリ。猫も、当分の間婆さんに、近寄らなかつたそうです。私が、大阪に来る時、百円札2枚くれました。今でも、卒業アルバムの中に、あるはず。あれから70年同じ世代に、成って婆さんの笑顔、思い出しています。と、共に時代の流れ感じて居る今日この頃です。桐井でした。

昭和初めは遠くなりにけり
 森繁スズと藤山寛美が接触したのには、おそろしく生憎で一度だけだと思われ。松竹新劇の座長、松谷文夫の作、演目による初代、森繁団治が評判を呼び、東宝で森繁で映画化された。映画化で全国的に知られる事になり、松谷が一席設け、森繁を招いた。新喜劇の若手、寛美も森繁の一人として同席した。このたった一度の出会いで何かあったのか... 以、森繁賞はあつた。森繁を賞した。そして歳月が流れ、新喜劇の座長となった寛美は、周囲に森繁に對する敬意を述べた。寛美は作家として、森繁や三波、スズ、松谷の作家、香川登枝、松竹新劇を聞いて、... (つづく)



11月のひと花カフェはおでんをみんなでたべました。次回は12月15日です。シチューと唐揚げを作ります。



ひと花カフェ

ふれあい喫茶も大賑わいでした。次回は12月14日に開催します。ぜひご参加ください。

